



Oracle Planning and Budgeting Cloud

2017 年 11 月 (17.11)

更新情報

ORACLE®

目次

目次.....	2
変更履歴.....	3
ORACLE PLANNING AND BUDGETING CLOUD (11 月更新).....	4
更新情報	4
Oracle Cloud Customer Connect のご案内	4
ドキュメントに対するフィードバックのお願い.....	4
<i>Planning and Budgeting Cloud および Enterprise Planning and Budgeting Cloud 更新情報</i>	4
月次スケジュール	4
プロビジョニング・レポートの CSV バージョンの変更	4
データ管理における重複するターゲット・アプリケーション名の登録.....	5
<i>Enterprise Planning and Budgeting Cloud 限定更新情報</i>	5
週次計画の通貨換算	5
週次計画の詳細設定	5
戦略モデリングによる Dataviews の作成と編集のサポート	6
Groovy ルールによるデータ・マップおよびスマート・プッシュのサポート	6
サポートの終了について	6
標準インタフェース (Planning and Budgeting Cloud Workspace Interface)	6
クラシック・ディメンション・エディタ.....	7
Financial Reporting Studio のデスクトップ・クライアント版	7
DEFECTS FIXED 修正された不具合	7
考慮事項	8

変更履歴

このドキュメントは、既存のセクションの変更および新しい情報の追加により、更新され続けます。すべての更新を次の表に示します。最新の更新情報が先頭に記載されています。

日付	変更内容	Notes 備考
2017 年 10 月 27 日		初版リリース
2017 年 11 月 2 日		修正された不具合 26279095、26999627、および 26993313 に摘要が追加されました。

※内容の変更につきましては、当ドキュメント(翻訳版)への反映が遅れる場合があります。以下のオリジナル版(英語版)が最新となります。

https://cloud.oracle.com/en_US/enterprise-planning-cloud/releasereadiness

ORACLE PLANNING AND BUDGETING CLOUD (11 月更新)

このガイドでは、近日公開される Oracle Planning and Budgeting Cloud および Enterprise Planning and Budgeting Cloud のリリースにおける最新情報と修正された問題点の概要について説明します。

更新情報

ORACLE CLOUD CUSTOMER CONNECT のご案内

EPM Cloud サービスをご利用のお客様は、ぜひ Cloud Customer Connect フォーラムへご参加ください。Oracle Cloud Customer Connect は、共通のゴールや目的について、メンバー同士が交流したり共同作業したりする場を集めたコミュニティ・サイトです。ここでは、最新のリリース情報や、イベントのご案内、またはユースケースの質問に対する回答などをご覧いただくことができます。登録には数分もかかりません。皆様のご参加をお待ちしております

<https://cloud.oracle.com/community>

ドキュメントに対するフィードバックのお願い

オラクルでは、更新情報や製品情報のドキュメントのコンテンツの改善に向けた、お客様からのご意見やご提案を募集しています。 EPMdoc_ww@oracle.com まで、フィードバックをお寄せください。Eメールの本文または件名に、お問い合わせまたはフィードバックのいずれかを記載し、該当の EPM Cloud サービスおよび月次パッチ・サイクルを指定してください。

PLANNING AND BUDGETING CLOUD および ENTERPRISE PLANNING AND BUDGETING CLOUD 更新情報

月次スケジュール

オラクルでは、本サービスの最新の更新を、テスト環境へは 2017 年 11 月 3 日(金)、本番環境へは 2017 年 11 月 17 日(金)に適用します。この更新はお客様の通常の日次メンテナンス中に実施されます。

また 2017 年 11 月 3 日より Oracle Help Center で、最新のドキュメントをご覧いただくことが可能です。

プロビジョニング・レポートの CSV バージョンの変更

この月次更新は、9 月の月次更新(17.09)で提供された CSV バージョンの「プロビジョニング・レポート」の変更を元に戻し、ユーザーに割り当てられた事前定義済 ID ドメイン・ロールにマッピングされるアプリケーション・ロールが一覧表示されるようになりました。また、グループにロールが割り当てられていない場合でも、ユーザーの割り当てられているグループが表示されます。たとえば、ユーザーに「サービス管理者」ロール

が割り当てられている場合、レポートの CSV バージョンでは「サービス管理者」ロールにマッピングされた各アプリケーション・ロールに 1 行表示されます。

プロビジョニング・レポートの CSV バージョンの作成についての詳細は、「*Administering Access Control for Oracle Enterprise Performance Management Cloud*」の「Generating Service-Level Provisioning Report」を参照してください。

データ管理における重複するターゲット・アプリケーション名の登録

「データ管理」では、同じ名前のターゲット・アプリケーションの登録がサポートされています。これは、お客様が複数のサービス環境をご利用で、各環境のアプリケーション名が同じである、または開発環境と本番環境でアプリケーション名が同一である場合が該当します。この機能を使用することで、アプリケーションの登録の際にアプリケーション名に接頭辞の追加ができるようになり、「データ管理」へ正常に登録して、ターゲット・アプリケーションのリストで正しく識別することができます。

接頭辞が含まれるターゲット・アプリケーションには下位互換性がなく、17.10 以前のリリースに移行することはできません。接頭辞名のないターゲット・アプリケーションのみが、以前のリリースに移行することができます。

この詳細については、「*Administering Data Management for Oracle Enterprise Performance Management Cloud*」の「Reusing Target Application Names Multiple Times」を参照してください。

ENTERPRISE PLANNING AND BUDGETING CLOUD 限定更新情報

週次計画の通貨換算

「財務」ビジネス・プロセスを週ベースで計画している場合、「グローバル仮定」構成タスクで月ベースの為替レートを入力してフォームを保存すると、月ベースの為替レートが週ベースの為替レートにコピーされます。コピーは、週を月にどのようにマッピングしたかに基づいています(4-4-5、4-5-4、または 5-4-4)。この機能は、「財務」キューブ(OEP_FS)にのみ適用されます。

この詳細については、「*Administering Planning for Oracle Enterprise Planning and Budgeting Cloud*」の「Enabling Weekly Planning」を参照してください。

週次計画の詳細設定

「財務」ビジネス・プロセスでは、週次計画を有効にすると、デフォルトで週次計画のすべてのエンティティと勘定科目組合せが設定されます。これで一部のエンティティと勘定科目組合せで月次計画が使用されるように指定することができます。これは、ほとんどのエンティティが週次計画を使用する中で特定のエンティティが月次計画を使用している場合、または特定の勘定科目以外のエンティティが月ベースで計画している場合に便利です。フォームは、エンティティと勘定科目の適切な精度を表示するために更新されます。週次計画を有効化したら、「ホーム」ページで「アプリケーション」、「設定」の順にクリックして、エンティティと勘定科目のカスタム計画を詳細に設定します。「設定」リストで「財務」を選択し、次に「週次設定」をクリックします。

この詳細については、「[Administering Planning for Oracle Enterprise Planning and Budgeting Cloud](#)」の「Weekly Configurations」を参照してください。

戦略モデリングによる DATAVIEWS の作成と編集のサポート

Web 上の「戦略モデリング」で Dataview の作成と編集ができるようになりました。「勘定科目ビュー」の「アクション」メニューで、「Dataviews」をクリックします。

この詳細については、「[Administering Planning for Oracle Enterprise Planning and Budgeting Cloud](#)」の「Working with Dataviews」を確認してください。

GROOVY ルールによるデータ・マップおよびスマート・プッシュのサポート

「Enterprise PBCS」または「PBCS Plus One」ライセンスでご利用いただける「Enterprise」タイプのアプリケーションでは、「データ・マップ(管理者向け)」または「スマート・プッシュ(ルールの起動アクセス権があるユーザー向け)」を実行することで、ソース・キューブからターゲット・キューブに入力データと計算済データを移動する Groovy ルールを書き込むことができるようになりました。この詳細については、「[Java API Reference for Oracle Enterprise Performance Management Cloud Groovy Rules](#)」で「DataMap」および「SmartPush」を参照してください。

サポートの終了について

標準インタフェース (PLANNING AND BUDGETING CLOUD WORKSPACE INTERFACE)

この変更は、2016 年 7 月 31 日以前にサブスクリプションをアクティブ化した Planning and Budgeting Cloud Service のお客様にのみ影響します。

2014 年 11 月からサービスでご利用いただけるようになったオプションの簡易インタフェースが、今後のサービス全体における標準となります。結果的に、Enterprise Planning and Budgeting Cloud Workspace としてご利用いただいている現在の標準インタフェースのサービスは、2017 年 12 月の更新にともないサポート終了となります(テスト環境へは 2017 年 12 月 1 日、本番環境へは 2017 年 12 月 15 日に適用されます)。11 月更新が 2017 年 11 月 17 日に本番インスタンスへデプロイされてからは、標準インタフェースのバグ処理や機能強化の対応は終了します。

この更新に備え、次の情報ソースを活用して、ユーザーに対する簡易インタフェースについての説明を実施してください。

- [Accessing the Service](#) : サービスのアクセス手順について
- [Displaying the Simplified Interface](#) : 簡易インタフェースの表示について
- [Working with Planning for Oracle Planning and Budgeting Cloud](#) : Planning タスクの実行についての情報
- [Administering Planning for Oracle Planning and Budgeting Cloud](#) : Planning Administrative タスクの実行についての情報

クラシック・ディメンション・エディタ

簡易インターフェースのユーザーは、2018年2月(18.02)の更新を有効にすると、「ナビゲータ」の「ディメンション」リンクが2017年5月(17.05)の更新で公開された「簡易ディメンション・エディタ」にリンクします。結果的に、クラシック・ディメンション・エディタのサービスは、2018年2月の更新にともないサポート終了となります(テスト環境へは2018年2月2日、本番環境へは2018年2月16日に適用されます)。

簡易ディメンション・エディタの使用の詳細については、「*Administering Planning for Oracle Planning and Budgeting Cloud*」の「[Editing Dimensions in the Simplified Dimension Editor](#)」を参照してください。

FINANCIAL REPORTING STUDIO のデスクトップ・クライアント版

オラクルでは、お客様へのシンプルで直観的なユーザー・エクスペリエンスの提供に積極的な取り組みを実践しています。これを実現するために、2016年3月からご利用いただいている Financial Reporting Web Studio が、レポート設計および構築のための唯一の環境となります。

オラクルでは、ユーザーの Financial Reporting Desktop Studio から Financial Reporting Web Studio への移行のための追加時間を提供しています。Financial Reporting Web Studio では、Financial Reporting Desktop Studio で提供されている機能と同等の機能が2017年後半からご利用いただけることが予定されており、その時点でデスクトップ版の Studio のサポートは Web Studio に移行され、Desktop Studio のサービスは終了となります。

オラクルは、お客様が速やかに Financial Reporting Web Studio のご利用に移行されることを推奨します。ご不明の点やご質問がある場合は、サービスの「フィードバックの実行」オプションをご利用のうえオラクルまでお問い合わせください。

DEFECTS FIXED 修正された不具合

更新がテスト環境に適用された際の最新情報については、このリストを再度ご確認ください。

不具合番号	摘要
26999627	式列のある Enterprise Planning and Budgeting Cloud のフォームで通貨換算が機能するようになりました。
26993313	Enterprise Planning and Budgeting Cloud の「財務」ビジネス・プロセスでは、銀行の「OFS_Cash」に子メンバーを追加できるようになりました。
26968870	最新のパッチ適用後のビジネス・ルール実行時のエラーが修正されました。
26965567	スマート・リストを参照するビジネス・ルールで、Planning で予測された結果が正しく検証、起動、および提示されるようになりました。
26965519	ASO モデルのビジネス・ルールで、ルールに「Jan:Jun」のフォーマットにメンバー範囲が含まれているかどうかを正しく検証されるようになりました。

不具合番号	摘要
26897073	日本語に設定されたブラウザでは、「フィードバック・ユーティリティの提供」画面で使用されているラベルが、設計通りに正しく表示されるようになりました。 注記：画面の「Confirmation Application Submission」セクションのメッセージは英語で表示されます。これは今後の更新で修正される予定です。
26863693	ページ・ディメンションを含む「財務レポート」の「すべて展開」機能が正しく機能するようになりました。
26850877	「実行中」ステータスのバッチ・ジョブの停止または削除が失敗する問題が修正されました。
26840992/ 26676546	すべての「期間」ディメンション・メンバーに、「プラン・タイプに有効」プロパティが正しく移行されるようになりました。
26721676	非常に大きな数値であっても、パーセント値が Planning フォームで正しい精度設定で表示されるようになりました。
26697191	月次パッチ適用時にデータ・ロードのスケジュールが削除されなくなりました。
26279095	「会計年度」の設定はアプリケーションの作成中に設定され、アプリケーションの作成後は変更できないため、「カレンダー」メニュー・オプションは不要になりました。このオプションは「簡易」ディメンション・エディタから削除され、この変更を反映するようにドキュメントが更新されました。
26424075	レポート作成の 4 人以上のメンバー選択時のエラーが表示されなくなりました。
26570462	Financial Reporting Studio では、最初のデータベース接続を確立するためにアプリケーションとデータベースを指定する必要があります。これにより、サーバーのエラー・ログのメッセージの恒常的な問題が解消されます。
26544159	スケジュールされたタスクのリストの日付が正しく表示されるようになりました。
25171331	「プランニング管理拡張機能」を使用すると、HSP_View ディメンションをワークシートにインポートする際に、Smart View でデフォルトのプロパティのみが正しく表示されるようになりました。

考慮事項

SMART VIEW で FIREFOX ESR 52.4.2 以降のバージョンをご利用の場合

今後の Mozilla Firefox のリリースでは、Smart View などの XUL ベースのアドオンのサポートが終了します。2017 年 11 月中旬から、新しい WebExtension テクノロジーで構築されたアドオンと拡張機能のみが Firefox 上で動作するようになります。このため、Smart View 11.1.2.5.710 では ESR 52.4.1 までのバージョンの Firefox のみがサポートされます。引き続き Smart View 11.1.2.5.710 で Firefox を使用される場合は、Firefox のブラウザをアップグレードしないでください。

Firefox のブラウザが自動的に更新をインストールするように設定されている場合、オラクルは設定を「Check for updates, but let me choose whether to install them. (アップデートを確認しますが、インストールするかどうかは選択します。)」に変更することを推奨します。



Copyright © 2017 Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

This document is provided for information purposes only, and the contents hereof are subject to change without notice. This document is not warranted to be error-free, nor subject to any other warranties or conditions, whether expressed orally or implied in law, including implied warranties and conditions of merchantability or fitness for a particular purpose. We specifically disclaim any liability with respect to this document, and no contractual obligations are formed either directly or indirectly by this document. This document may not be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, for any purpose, without our prior written permission.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

Intel and Intel Xeon are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation. All SPARC trademarks are used under license and are trademarks or registered trademarks of SPARC International, Inc. AMD, Opteron, the AMD logo, and the AMD Opteron logo are trademarks or registered trademarks of Advanced Micro Devices. UNIX is a registered trademark of The Open Group.

Integrated Cloud Applications & Platform Services

17.11